

感動あふれる試合を ～サッカーファミリーの皆様とともに～

公益財団法人 愛知県サッカー協会

日本サッカー協会では、サッカー界における暴力・暴言の根絶に向け、「しない、させない、許さない」をキーワードに取り組んでいます。この問題には社会の意識、認識が大きく関わっています。指導者ばかりでなく、選手や役員、保護者をはじめ、関わるあらゆる人たちが、この問題に対して意識を高め、雰囲気や文化を変化させていく必要があります。

そして、愛知県サッカー協会は選手が精一杯頑張り、選手自身はもちろん、指導者や運営者、観客が感動するような良い試合をしてもらいたいと考えています。

良い試合をするために、選手や指導者は努力をしています。審判は日頃から鍛錬を積み、試合に臨んでいます。運営担当者は事前準備や試合当日の運営等に一生懸命に取り組んでいます。

しかし、残念ながら試合中に次のような状況が見られます。

- ・ 指導者が選手に恐怖を与えたり、恥ずかしい思いをさせる。
- ・ 指導者が審判に不適切な言葉を使用する。(異議・暴言)
- ・ 選手が審判や相手の選手に対して不適切な態度をとる。等

サッカーは素晴らしいスポーツです。このような状況はサッカーを負の方向に進めてしまいます。愛知県サッカー協会は「しない、させない、許さない」をキーワードに、皆さんとともに良い試合ができるように取り組んでいきたいと思えます。

リスペクト精神は、選手、指導者、審判、試合運営者、観戦者、施設関係者等、それぞれの間が必要です。そして、良い試合のためには選手、指導者、審判の間でのリスペクト精神がとても大切です。

裏面のリスペクト宣言は子供達に向けてつくったものです。
誰にとっても重要なことと考えています。